

第15期プロジェクトメンバー

GET プロジェクト

- ◎早川 正彦 (南早川銘板製作所 代表取締役社長)
○豊岡 淳 (ユタカ精工(株) 代表取締役)
稲場 純 (㈱リガルジョイント 代表取締役)
尾崎 一朗 (尾崎ギヤー工業(株) 専務取締役)
小林 利明 (共生食品(株) 取締役営業部長)
柴原 博靖 (㈱ソーアツプ 代表取締役)
鈴木 道雄 (永進テクノ(株) 代表取締役)
関口 明彦 (日産自動車(株) 相模原部品センター 総務グループ 課長)
高橋 貞一 (㈱高橋精密工業 代表取締役)
仁村 治之 (㈱オーバックサービス 代表取締役)
長谷川 剛 (㈱サンリッチ 代表取締役)
渡邊 将文 (㈱MEMOテクノス 代表取締役)
☆松岡 康彦 (湘南デザイン(株) 代表取締役)
☆鈴木 克人 (相模ビーシーアイ(株) 代表取締役社長)
☆河野 崇 (南河野製作所 代表取締役)

TRY プロジェクト

- ◎杉本 祥一 (㈱ハイスボット 代表取締役)
○吉田 英訓 (㈱ミヨシ・ロジスティックス 代表取締役社長)
秋山 直樹 (新光ネームプレート(株) 代表取締役)
荒井 功 (㈱日相印刷 代表取締役)
今村 光雄 (三光機械(株) 代表取締役)
大谷 保憲 (㈱ボード・プランニング 代表取締役)
大坪 征弘 (エイト技工(株) 代表取締役社長)
河本 悟 (東邦電子(株) 代表取締役社長)
久保 誠 (清水原工業団地(株) 代表理事)
久保田浩章 (相模螺子(株) 代表取締役社長)
阪口 勇 (日本テクノ(株) 取締役保安本部長)
杉田 豊範 (㈱大丸製作所 代表取締役)
田中 紘昭 (テクノ相模(株) 代表理事)
中濱 一芳 (東京ガス(株)神奈川西支店 支店長)
山口 誠志 (山口自動車(株) 代表取締役)
☆山崎 利宏 (城山工業(株) 代表取締役社長)
☆小林 昌純 (㈱コバヤシ精密工業 代表取締役社長)

KIZUNA プロジェクト

- ◎那須 隆仁 (三恵エンジニアリング(株) 専務取締役)
○横江 利夫 (旭フォークリフト(株) 代表取締役)
五十嵐四郎 (グリーンピア田名(株) 代表理事)
上野 賢美 (相模原機械金属工業団地(株) 副理事長)
浮ヶ谷 崇 (三菱重工業(株)汎用機・特車事業本部 企画管理部 総務・環境課長)
鈴木 和弥 (㈱東鈴紙器 代表取締役社長)
山下 哲 (日本山村硝子(株) 東京工場 工場長)
田所 毅 (㈱相模工機所 代表取締役)
平山クリフォードモーリス (㈱チェリーエンジニアリング 代表取締役)
前田 順也 (扶桑精工(株) 代表取締役社長)
松永 晃一 (松永商工(株) 代表取締役社長)
寂住 悦子 (㈱広和産業 代表取締役)
☆助川秀一郎 (利恵産業(株) 相模原工場 代表取締役社長)
☆西澤 勇司 (㈱キャロットシステムズ 代表取締役)

◎: 委員長 ○: 副委員長 ☆: 担当副会長

GET・TRY・KIZUNA 新成長ビジネス支援事業 第15期報告書 2013.11.1 - 2016.10.31

次世代ビジネスへの光を見逃さない。

工業部会 GET・TRY・KIZUNAプロジェクト

日本の産業は、戦後幾度も構造転換を図りながら成長を遂げてきました。

戦後日本の経済復興を支えた鉄鋼産業と石炭産業。その後は石油エネルギーの台頭により、重化学工業や自動車産業が発展しました。1973年にオイルショックがおこると、これまでのエネルギー・資源多消費型から、省エネ型への産業の変化がおきました。エネルギー開発、環境ビジネス、ロボット産業、海外市場への挑戦。

産業技術のみに限らず、市場、生活などあらゆるものが時代の流れとともに変化し続けており、これらはまた、日本の中小企業にとって大きな転機となります。

我々中小企業はこうした時代の変遷をとらえ、企業としてさらなる飛躍をとげるための「新たなビジネスへの光」を見つけ出し、新たな市場や技術に挑んでいかなければなりません。

工業部会GET・TRY・KIZUNAの3プロジェクトは、市場の研究や技術視察、産学・産産連携などによって中小企業にイノベーションを引き起こすことを目的に2013年新たな体制でスタートしました。

GETプロジェクト〔研修〕

医療産業や次世代エネルギーなど新成長市場への参入に関する研究や、海外の市場動向、また地域企業の経営戦略について研究するためのセミナー等を実施。

TRYプロジェクト〔視察〕

ものづくりに関連する技術や企業・研究所等の視察事業を実施。

KIZUNAプロジェクト〔交流・広報・社会奉仕〕

地域企業のネットワーク作りのための交流事業や、社会に寄与する活動を実施。また「工業部会通信」による、工業部会の活動や市内企業の情報発信を実施。



相模原の技術 新たなステージへ

相模原商工会議所 会頭 杉岡 芳樹

相模原市は、昭和30年に「工業立市」の旗印を掲げ工場誘致条例を制定され、翌年には誘致企業第1号が進出するなど、これまで「内陸工業都市」として発展してまいりましたが、それらを支えてまいりましたのは、ものづくりを中心とする中小製造業の皆様のご尽力によるところも大きく影響しております。しかしながら、近年の経済活動のグローバル化やAI、IoTなど、中小企業の経営を取り巻く環境は多様化し厳しさをましてまいります。

こうした中、県や市では、インベスト神奈川やステップ50などによる産業集積を図るための取組みが進められるとともに、成長産業であるロボット産業への中小企業の参入を支援する事業などにも注力をしているところです。

こうした時代の変化を適時適切に対応していくためには、情報収集や企業間連携などは中小企業がさらに発展してうえで極めて重要であることから、工業部会のGET・TRY・KIZUNAプロジェクト事業が果たすべき役割は非常に大きなものと考えております。本市には高い技術力を有し、魅力ある製品をつくり続けることができる企業が数多く存在していますので、各プロジェクトのより一層の取り組みにより、市内産業のさらなる振興と相模原市の発展に活躍されることをご祈念申し上げます。



ビジョンを共有し、会員にビジネスチャンス

相模原商工会議所 工業部会 部長 甲斐 美利

次代の成長に向けたビジネスへの挑戦。これは、時代が転換期を迎え、今後社会に大きな変化が訪れるであろう今、私達が取り組んでいかなければならない命題であります。私達中小企業は、常に創造力をもって社会のニーズを見極め、先進的なものづくりに挑戦していかなければなりません。

平成22年、「自動車」「海外展開」「水素エネルギー」の3つの研究テーマを掲げスタートしたGETプロジェクトは、工業部会の企業に数々のビジネスのきっかけを与え、新たな事業展開への光を示すものでした。第15期からは、新たにTRY、KIZUNAのプロジェクトチームを加えたことでさらに事業は充実化し、より多くの工業部会の会員の皆様と将来のビジョンを共有することができました。

今後、1社でも多くの企業が新たなビジネスへのきっかけを掴めるよう活動してまいりたいと考えております。先行きの不透明な経済情勢と言われておりますが、中小企業の未来は私達自身の手で切り拓いていきますよう、会員の皆様には引き続きご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



第15期 GETプロジェクト委員長 早川 正彦

発足から6年、松岡前委員長はじめ、工業部会メンバーの強い意思によって誕生したGETプロジェクトの活動には、新たなビジネスへ挑んだ市内中小企業の軌跡が多く残されています。海外という新たな舞台に進出を果たした企業、医療機器メーカーへと転身した企業、ロボット分野でのビジネス創出を狙う企業など、それぞれの事例全てが「次代への挑戦」を成し遂げていました。今期は、より多くの工業部会の会員が関心を持てるよう、また、GETの名称の由来でもある「仕事とマネーをGETする」ために、新分野で成功している地元企業に主眼を置いた経営講演会を企画しました。参加いただいた会員企業の皆様は、それぞれの先進的、独創的な経営戦略に刺激を受け、次のビジネスへのヒントを掴んでいただけたことと思います。ご講演に協力をいただいた企業の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。工業部会にはまだまだ高いポテンシャルを持った中小企業が多く所属しております。今後もこのGETプロジェクトが、さらなる挑戦を続ける中小企業が集う場所として充実し、そして1社でも多くの会員がビジネスチャンスを得ることをご期待申し上げ、挨拶とさせていただきます。



第15期 TRYプロジェクト委員長 杉本 祥一

ビジネスを成功に導くためには、その戦略や理論を知ることと同様に、実際に自らの目で確かめ、それに携わる人間の話を聞き、できるだけ多くの示唆を得ることが大切です。今期のTRYプロジェクトでは、工業部会に所属する幅広い業種の方に参加をいただけるよう、展示会、研究所、ものづくり企業、そして海外視察と、バラエティに富んだラインナップでの事業を実施しました。中でもGETプロジェクトの企画と連携で実施したドイツ視察では、産業界の旬のキーワード「Industry4.0」をテーマに、現地ロボットメーカー等の訪問を実施し、世界のものづくり産業において「今何が起きているか」を目の当たりにしてきました。そこでは最先端技術についてはもちろんの事、文化や歴史、経済などあらゆる要素が今の「ものづくり大国ドイツ」を構成している事を学び、工業立国としての強さの一端を垣間見ることができました。視察先で何を見る、何を求めるかは、参加された方によって千差万別かと思いますが、これまでの視察で、1人でも多くの方が自社の発展に繋げられるような成果を持ち帰っていただいていると幸甚の至ります。



第15期 KIZUNAプロジェクト委員長 那須 隆仁

当プロジェクトに課せられた命題は、企業交流の促進、部会の情報発信、社会奉仕活動の実施です。これらを部会単独で事業として行うのは前例のないことでしたが、多くの企業の皆様の協力によって、目的は概ね達せられたことかと思います。工業部会による会員交流大会は6回の実施を数え、毎回50名近くのご参加をいただきました。新たに立ち上げたWEB新聞「工業部会通信」は3年間で57回発行し、会員事業所の情報発信や、部会活動の報告をタイムリーにおこなうことで、工業部会の活動をより身近に感じていただく事ができたかと思います。社会奉仕では、被災地への支援として工業部会所属の4社より遊休機械を提供いたしました。徐々にではありますが、相模原商工会議所工業部会のもと、企業間の人材、情報等の交流が進んできたように感じられます。今後、約800社ある工業部会の会員が皆つながることができたら、相模原市のものづくり産業は更に成長していくことでしょう。第16期も引き続き企業交流が継続、発展していくことを期待し、末筆ながら、当プロジェクトにご協力いただきました多方面の皆様へ改めて感謝申し上げ、ご挨拶いたします。



GET プロジェクト「講演事業」

- H25.11.15 日 「ヘルスケア分野シェアNo.1！市場を制する経営戦略～国内最大の医療S E 集団 富士通の新たな取組～」
講師：富士通株式会社ヘルスケア・文教システム事業本部ソリューション推進統括部 シニアディレクター 千葉 秀人氏
- H26.1.31 日 「ベトナム都市プロジェクト ビンズン省の工業団地と新都市開発」
講師：①ベトナムIDDCコーポレーション日本連絡事務所 総代表 酒井 正剛氏 ②東京急行電鉄 国際事業部 都市開発部 課長 須山 真慈氏
- H26.2.12 日 「海外進出支援セミナー ベトナム経済と日系企業の動向」
講師：日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部 主任調査研究員 守部 裕行氏
- H26.3.28 日 「縫製業からみたアジアビジネス ～工業ミシン世界ナンバーワン！海外市場はこうして狙え～」
講師：JUKI 工業用ミシン事業部 縫製研究所 所長 佐々木 哲氏
- H26.5.8 日 「世界を驚かせたニッポンの技術 ～オンリーワンを生んだホンダのDNA～」
講師：㈱向洋技研 代表取締役 甲斐 美利氏
- H26.8.29 日 「世界市場で戦うメイド・イン・ジャーマニー～独自技術で躍進するドイツものづくり企業の戦略とは～」
講師：日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部 欧州ロシアCIS課 課長 前田 篤徳氏
- H26.10.1 日 「世界市場で戦うメイド・イン・ジャーマニー2 ～ドイツ産業クラスターのケーススタディと『第4次産業革命』への取組み～」
講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング コンサルティング・国際事業本部 国際営業部 副部長 / ドイツ連邦共和国ザクセン州経済振興公社 日本代表部 代表 尾木 龍人氏
- H26.10.17 日 「千代田化工建設『SPERA水素』プラント視察会」
講演：「水素エネルギーの大規模貯蔵輸送技術 SPERA水素システムと水素サプライチェーン構想」
講師：千代田化工建設 技術開発ユニット水素水素チェーン事業推進ユニット 技師長 岡田 佳巳氏 / シニアアドバイザー 中田 氏
- H27.1.28 日 「世界市場で戦うメイド・イン・ジャパ～海外企業の現状と市内企業の進出事例～」
講師：①㈱アクリン・テクノロジナル 代表取締役 谷口 昭雄氏 ②相模原市産業振興財団 シニアマネージャー 中村 浩氏
③㈱大久保製作所 代表取締役 杉田 博昭氏 ④㈱向洋技研 営業部 係長 中村 廣一氏
- H27.6.19 日 「環境・新エネルギー産業の成長と中小企業の新たなビジネスチャンス」
講師：日本政策投資銀行 総合研究所 主任研究員 海上 泰生氏
- H27.8.27 日 「拡大する風力発電市場とビジネスチャンス～市場動向と中小企業の技術参入～」
講師：特許非営利活動法人 経営支援NPOクラブ 佐藤 敏夫氏
- H28.3.25 日 「ものづくり企業のための医療産業参入のポイント～市場規模1兆円！異分野からの参入を狙え～」
講師：㈱東経産業 地域経済部 次世代産業課 ヘルスケア産業室 係長 山中 和久氏
- H28.6.2 日 「ものづくり企業のための医療産業参入のポイント2～医工連携最前線！参入を加速する『製販ドリブン』とは～」
講師：（一社）日本工場のつくりコムズ 理事 柏野 彰彦氏
- H28.7.7 日 「ものづくり企業のための医療産業参入のポイント3～医療を支える機器開発へ！現場が求める医工連携とは～」
講師：東京慈恵会医科大学 呼吸器外科 教授 森川 利昭氏（東京慈恵会医科大学 外科学講座 教授）
- H28.7.26 日 「ドイツのロボット導入状況について」
講師：青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之氏
- H28.9.16 日 「ものづくり企業のための医療産業参入のポイント4 医療機器市場に挑むものづくり企業 株式会社マック電子」
講師：㈱マック電子 代表取締役会長 村山 忠雄氏



KIZUNA プロジェクト「交流事業」

- H26.3.17 日 「第1回 会員交流大会（工業版）」
- H26.8.19 日 「第2回 会員交流大会（工業版）」
青山学院大学理工学部経営システム工学科 研究講演
- H27.2.9 日 「第3回 会員交流大会（工業版）」
①工場・事業場排水の新たな評価手法について 一般財団法人生物科学安全研究所
②21世紀型、これからの労務関係～未払い賃金～ 弁護士法人高瀬総合法律事務所
- H27.9.4 日 「第4回 会員交流大会（工業版）」
「五川大学ロボットチャレンジプロジェクト RoboCup世界大会への挑戦」
五川大学 工学部 機械システム工学科 教授 岡田 浩之氏
- H28.2.8 日 「第5回 会員交流大会（工業版）」
「手軽にできる健康改善 ビジネスマンのための『フライングネス』」
- H28.7.26 日 「第6回 会員交流大会（工業版）」
青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之氏

遊休機械無償マッチング
支援プロジェクト

KIZUNAプロジェクトでは、東日本大震災の被災事業者の復興支援にむけて、「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」^(※)の周知活動を実施いたしました。ご提供にご協力いただいた皆様ありがとうございます。

提供実績：旭フークリフト㈱、㈱中村電機
日本化工機材㈱、㈱林電業社
(計10件の機械を提供)

※東日本大震災による津波などで機械等を流失・損壊した事業者の復興支援を図るため、全国各地の商工会議所と連携をほか、遊休製造工作機械等を無償で提供し、被災事業者の要望とのマッチングを行うプロジェクト。

事業期間：平成23年6月～平成27年12月

事業主体：日本商工会議所
東北六商工会議所連合会
仙台商工会議所



TRY プロジェクト「視察事業」

- H26.5.20 日 「未来技術視察バスツアー」
①サイバダインスタジオ視察
②独立行政法人産業技術総合研究所 サイエンス・スクエアつくば視察
- H26.11.21 日 「エネルギーソリューション視察研修&横浜ロイヤルウィング交流会」
①東京ガスエネルギーソリューション展 熱電プラザ2014
②産業交流館2014
③みなとみらい二十一熱供給網
- H27.7.28 日 「電力中央研究所横浜地区 視察交流会」
①電力中央研究所 横浜支地区
②湘南港江の島ヨットハウス
- H28.2.17 日 「JFEスチール株式会社日本製鉄所（千葉地区）視察会」
JFEスチール株式会社 千葉地区
- H28.10.1 (土) ～10.7 日 「Industry4.0 ドイツ視察会」
BMW、KUKAほか（ミュンヘン、アウクスブルグ）



工業部会通信

相模原商工会議所ホームページにて、工業部会の活動や会員企業の情報を随時発信しています。

- | | | |
|----------------------|----------------------|--------------------|
| ▶第001号 (2013年11月) | ▶第023号 (2014年 9月特別号) | ▶第045号 (2015年10月号) |
| ▶第002号 (2013年12月) | ▶第024号 (2014年 9月①号) | ▶第046号 (2015年11月号) |
| ▶第003号 (2014年 1月) | ▶第025号 (2014年10月①号) | ▶第047号 (2015年12月号) |
| ▶第004号 (2014年 2月) | ▶第026号 (2014年10月②号) | ▶第048号 (2016年 1月号) |
| ▶第005号 (2014年 2月) | ▶第027号 (2014年11月①号) | ▶第049号 (2016年 2月号) |
| ▶第006号 (2014年 2月) | ▶第028号 (2014年11月②号) | ▶第050号 (2016年 3月号) |
| ▶第007号 (2014年 3月) | ▶第029号 (2014年12月①号) | ▶第051号 (2016年 4月号) |
| ▶第008号 (2014年 3月) | ▶第030号 (2015年 1月号) | ▶第052号 (2016年 5月号) |
| ▶第009号 (2014年 4月特別号) | ▶第031号 (2015年 2月①号) | ▶第053号 (2016年 6月号) |
| ▶第010号 (2014年 4月特別号) | ▶第032号 (2015年 2月②号) | ▶第054号 (2016年 7月号) |
| ▶第011号 (2014年 4月) | ▶第033号 (2015年 2月特別号) | ▶第055号 (2016年 8月号) |
| ▶第012号 (2014年 5月①号) | ▶第034号 (2015年 3月①号) | ▶第056号 (2016年 9月号) |
| ▶第013号 (2014年 5月②号) | ▶第035号 (2015年 3月②号) | ▶第057号 (2016年10月号) |
| ▶第014号 (2014年 5月③号) | ▶第036号 (2015年 3月③号) | |
| ▶第015号 (2014年 5月④号) | ▶第037号 (2015年 3月④号) | |
| ▶第016号 (2014年 6月①号) | ▶第038号 (2015年 4月号) | |
| ▶第017号 (2014年 6月②号) | ▶第039号 (2015年 5月号) | |
| ▶第018号 (2014年 6月③号) | ▶第040号 (2015年 6月①号) | |
| ▶第019号 (2014年 7月①号) | ▶第041号 (2015年 6月②号) | |
| ▶第020号 (2014年 7月②号) | ▶第042号 (2015年 7月号) | |
| ▶第021号 (2014年 8月①号) | ▶第043号 (2015年 8月号) | |
| ▶第022号 (2014年 8月②号) | ▶第044号 (2015年 9月号) | |

工業部会通信 検索



第16期GET・TRY・KIZUNAプロジェクト
(2016年11月～2019年10月)

新体制で始動！

GETプロジェクト



豊田 淳委員長

- ◎豊田 淳 (ユタカ精工 代表取締役)
- 河野 崇 (㈱河野製作所 代表取締役)
- 井上 毅 (㈱イノウエ 代表取締役社長)
- 千葉 龍太 (かながわ経済新聞合同会社 代表社員)
- 早川 正彦 (㈱早川銘板製作所 代表取締役)
- ☆鈴木 克人 (相模ビーシーアイ 代表取締役社長)
- ☆小林 昌純 (㈱コバヤシ精密工業 代表取締役)
- ☆田森 幸一 (㈱双葉工業 代表取締役)

TRYプロジェクト



吉田 英訓委員長

- ◎吉田 英訓 (㈱ミヨシ・ロジスティックス 代表取締役社長)
- 渡邊 将文 (㈱MEMOTEK 代表取締役)
- 久保 誠 (㈱オーエエ 代表取締役)
- 大西威一郎 (㈱クワフシャ 代表取締役)
- 野尾 睦彦 (東京ガス ㈱神奈川西支店 支店長)
- 中村 勝彦 (㈱中村電機 代表取締役)
- 杉本 祥一 (㈱ハイスボット 代表取締役)
- 山口 誠志 (山口自動車 代表取締役)
- ☆松岡 康彦 (湘南デザイン ㈱ CEO)
- ☆山崎 利宏 (城山工業 代表取締役社長)

KIZUNAプロジェクト



横江 利夫委員長

- ◎横江 利夫 (旭フークリフト 代表取締役)
- 鈴木 道雄 (永進テクノ 代表取締役)
- 那須 隆仁 (三恵エンジニアリング ㈱ 専務取締役)
- 秋山 直樹 (新光ネームプレート 代表取締役社長)
- 大谷 保憲 (㈱ボード・プランニング 代表取締役)
- ☆西澤 勇司 (㈱キャロットシステムズ 代表取締役)
- ☆稲場 純 (㈱リガルジョイント 代表取締役)

工業関連活動

1. 相模原商工会議所 医工連携協議会

医療現場における課題を調査し、ものづくり技術やロボット技術の活用によるソリューションを実現するための協議会を設立。意見交換会や医療現場の見学会を実施し、医療用ロボットやサービスロボットの活用可能性と、ものづくり企業との連携について検討を実施した。

〈参画企業等〉

神奈川県厚生連相模原協同病院
株式会社コバヤシ精密工業
株式会社ハイスポット

永進テクノ(株)
湘南デザイン(株)
有限会社早川銘板製作所

(株)キャロットシステムズ
城山工業(株)
(株)MEMOテクノス



平成27年9月10日 医工連携協議会



平成28年6月17日 相模原協同病院見学会

2. 工業系内部団体

①相模原市青年工業経営研究会

「地道に自ら学ばん」の基本理念のもと、次世代の産業を担う満42才以下の経営者（またはこれに準ずる者）によって、経営上の諸問題の研究・討議し、その成果をもって、広く中小企業の利用に供し、相模原市工業の振興に寄与することを目的に、幅広い活動をおこなっている。

〈主な事業実績〉

- ・宿泊研修例会
- ・海外視察例会
- ・講演会



②相模原商工会議所工業部会 近未来技術研究会

3～5年後という近い未来に実現する最新技術・経済展望等について、第一線で活躍する技術者や専門家を招き、講演会などを実施。「常に変動する未来をキャッチアップする」という会の趣旨に則り、会員の企業経営に活かすための調査研究活動、会員企業の情報交換のための交流活動などをおこなっている。

〈主な事業実績〉

- ・「最新ロボット技術が医療・介護の未来を変える！～世界初ロボットスーツ『HAL』～」
講師：筑波大学大学院教授 山海 嘉之 氏
- ・「どうなる近未来ロボット革命～あなたの家にもロボットが！？これが最新テクノロジーだ～」
講師：アスラテック(株) 吉崎 航 氏／(株)BRAVE ROBOTICS 代表取締役社長 石田 賢司 氏
- ・「モータリゼーション2.0が引き起こす革命～2025年、産業界はこうなる～」
講師：川口 盛之助 氏
- ・『「2020年地上に太陽を」夢の近未来エネルギー“核融合発電”視察会』核融合科学研究所他

